

日本心理学会第87回大会公募シンポジウム
(宗教心理学研究会第20回研究発表会)

神学・宗学は
実証的宗教心理学と連携・協働することができるのか
－実証的宗教心理学の挑戦（2）－

指定討論

西脇 良

(南山大学)

特集①「『心理学ワールド』を読む」

「キリスト教学の領域から」

(佐野正子先生)

- ・91号「思いやりの心理学」に注目
- ・神学における人間理解に新たな認識をもたらすことへの期待

心理学
ワールド

編集・発行 日本心理学会
PSYCHOLOGY
WORLD Apr. 2023

101

特別企画

『心理学ワールド』の楽しみ方



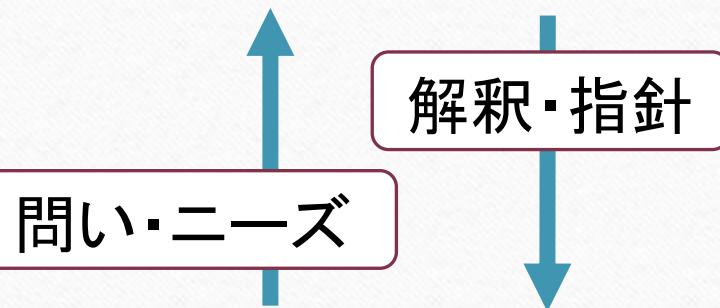
今回のテーマ

神学・宗学

連携・協働

実証的宗教心理学

臨床実践



宗教教団・宗派
(信者・門徒)



ミッション校の精神的基軸

「キリスト教ヒューマニズム」尺度作成の試み

森本真由美 先生

(清泉女子大学)

- ・神学と心理学の関係

研究手法の違い → 人間理解のために他の領域との協働が必要

- ・教皇庁立認可神学部での専門科目(神学領域)・実践的課題

- ・上智大学教育イノベーションプロジェクト『街角のヒューマニズム』

「キリスト教ヒューマニズム」概念(を媒介とした連携・協働)

「キリスト教ヒューマニズム」の「7命題」

「7命題」に基づく授業実践から得た言語データ

「キリスト教ヒューマニズム」尺度の開発



神学・宗学と実証的宗教心理学との協働

「キリスト教ヒューマニズム」（神学が根拠）の定着度
を測定するための心理尺度の開発



質問

「7命題」「授業実践」と「キリスト教ヒューマニズム
尺度」開発との関係について

宗教と心理学の接点

—キリスト教・プロテスタントの視点から—

河村従彦 先生

(カワムラカウンセリングルーム)

1. プロテスタントの宗教性

キリスト教の中での立ち位置

2. プロテスタント神学と心理学との接点

「こころ」の捉え方の違いと相互批判

3. 心理学が貢献できる役割

人間のもつニーズ(=救済)の提示

人間の変容可能性の提示

4. 神イメージ理論

「神イメージ尺度日本版(J-GIS)」の作成

宗教体験を心理学用語で表現する試み

→双方からアプローチ可能

5. 現状と期待される今後

神イメージ理論の日本での展開

双方の「異動・棲み分け」の不明瞭さ

対話に必要性



神学・宗学と実証的宗教心理学との協働

「神イマージ尺度日本版」の開発は、実証的宗教心理学からの神学・宗学への対話の呼びかけでもある



質問

「神イマージ尺度日本版」について「神学・宗学」側からの反応は？（個人的対話／学会発表等で）

伝統仏教教団における心理学研究の可能性

武田正文 先生

(浄土真宗本願寺派高善寺)

武田先生の活動

臨床心理士・公認心理師 「仏心チャンネル」等

浄土真宗本願寺派

「新しい領解文」騒動 教義

宗学と実証的宗教心理学

問い合わせの違い(本質 vs. 現前の事柄)

可能性と課題

宗制基本調査結果に基づいた組織の見直し

用語や方法論の違い

宗学の裏付けとしての宗教心理学



神学・宗学と実証的宗教心理学との協働

教学解釈や組織ガバナンス体制でゆれる現状。客観的なデータを得る手法に、実証的宗教心理学が貢献できる可能性。



質問

「宗制基本調査」等の教派内調査の実施にあたって宗教心理学に寄せる期待、ニーズについて

伝統宗教を踏まえたスピリチュアルケアの実践の可能性 —浄土真宗の視点から—

河村 諒 先生

(愛知県立大学)

ビハーラ活動について

ビハーラの宗学的基礎付け

全人的ケア(身体的・精神的・社会的・靈的苦痛のケア)

靈的苦痛の存在

(生きる意味・苦しみの意味・死の恐怖・神の存在・死生観の悩み)

スピリチュアルケア

超越者／内面の超越的自己との出会い

「宗教をふまえたスピリチュアルケア」

高齢者施設でのスピリチュアルケア調査(有用性および課題)

実践上の連携を高めるために

宗学の側

…全人的ケア・グリーフケア・スピリチュアルケアへの理解

心理学の側

…宗教的なニーズを把握すると共にその有用性を検証



神学・宗学と実証的宗教心理学との協働

ビハーラの活動がすでに連携・協働の一つの姿であることを示している。



質問

ビハーラを実践する上での課題克服に向けて、実証的宗教心理学が果たすことができる役割について

仏教と心理学の接点

—仏教における「行」と行動科学—

中尾将大 先生
(大阪大谷大学)

1. 仏教の基本的な考え方

「苦しみ」の解決。「四苦八苦」「安心」

自己変容の教え。「自ら行ずることで智慧に至る」

2. 行動分析学の基礎

心理学は(人間が幸せに生きるための)人間の理解を

目指す。

行動分析学(行動の法則を発見する基礎科学)

応用行動分析学における「ABC分析」

3. 仏教と行動科学の接点

仏教…「行」(瞑想や念佛、「写経」)の実践による苦の
解決

行動科学…行動分析学の視点から「行」を捉える

4. 発表者の取り組み(行[易行]としての写経)

写経の理論行動分析

「ABC分析(三項隨伴性分析)」(先行事象→行動→後続事象)モデルの
適用
仏教(苦の解決)の「行」モデルで「ABC分析」モデルを
解釈

5. まとめ

「ABC」モデル／行動隨伴性ダイアグラムは科学的
思考に慣れ親しんだ現代人に合致

仏教(行)の可能性を応用行動分析学の視点から

追究・提案

「簡易版・写経」の取り組み(「繰り返し効果」)



神学・宗学と実証的宗教心理学との協働

応用行動分析学の理論モデルと、仏教教義（ex. 四諦八正道）との親和性



質問

他の宗教（たとえばキリスト教）についても、同様の方法論（行動分析学の枠組みによる実践）は考えられるか

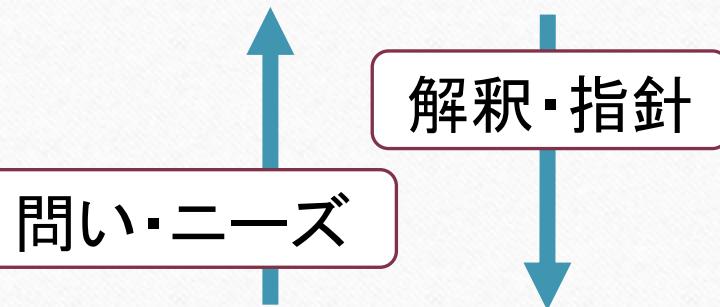
今回のテーマ

神学・宗学

連携・協働

実証的宗教心理学

臨床実践



宗教教団・宗派
(信者・門徒)

